

事業所名 :グループホームみくに栄の園

作成日:平成 31 年 4 月 25 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	外出願望の強い利用者の安全確保のため施設管理がやむを得ない状態となっている。	施設内において穏やかに落ち着いて生活できるような環境を整える。	利用者の意向を確認し施設内での生活が快適に過ごせるような環境を整えて、職員が確認できないような状況で外出することがないようにする。	6ヶ月
2	49	散歩の機会が少なくなっている。	安全を確保しながら本人の希望に添えるような体制を整える。	車椅子利用者や自立歩行ができる利用者は職員が同行し施設周辺を散歩する機会を増やす。移動が難しい利用者は施設敷地内の庭等を整備し外気に触れる機会を増やす。	3ヶ月
3	2	地域との接点の中心となっている町会関係者は高齢者が多く幅広い世代との交流ができていない。	地域との交流を深めるため、幅広い世代との交流の機会を増やす。	消防団や学校関係、保育所の保護者層等との接点を強化する。若い世代を対象にしたイベントを企画運営する。	6ヶ月
4	11	調理の負担が増えて業務に支障が出ている。	調理の負担を軽減し業務の円滑化を図る。	調理済み食材の導入。業務分担の見直しで効率化を図る。	3ヶ月
5	3	認知症の啓蒙活動の機会が少ない。	認知症を理解する機会を提供する。	日常生活における認知症を理解する機会を提供するため、傾聴ボランティアを導入する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。